

令和8年度 自ら学び 自ら考え 自ら行動する子を育てる



松林小だより 4月

令和8年 4月6日

第1号

茅ヶ崎市立松林小学校 校長 下反 達二

心新たに



春風とともに、活気ある子どもたちの声が学校に戻ってきました。新しい学年への期待に胸を膨らませる子どもたちの瞳は、希望に満ち溢れています。お子様のご進級、誠におめでとうございます。

本校に着任して2年目の春を迎えました。昨年度、子どもたちが日々の学習や行事に一生懸命取り組む姿、そして地域・保護者の皆様の温かな支えを間近に感じ、改めてこの学校の素晴らしさを実感した一年でした。昨年の経験を糧に、今年度は、子どもたちとの絆を大切にしながら、さらに一步踏み込んだ教育活動に邁進してまいる所存です。

さて、今年度私が、大切にしたい言葉があります。それは、「元気に登校、機嫌よく下校」です。先日、奈須正裕氏(上智大学教授)の講演会で聞いてきた言葉です。

朝、「今日は何をしようかな」と期待を胸に校門をくぐる。そして放課後、充実感や達成感を抱きながら「ああ、今日も楽しかった!」と笑顔で家路につく。この当たり前のような光景こそが、子どもたちの健やかな成長の土台であり、私たち教職員が守るべき最高の姿であると考えています。

「機嫌よく」下校するためには、授業での「わかった」という喜び、友達との「つながった」という実感、そして先生や仲間に「認められた」という安心感が必要です。

一人ひとりの小さな変化を見逃さず、子どもたちが主体的に学び、安心して自分を表現できる環境づくりに全力を尽くします。これまで以上に家庭・地域の皆様と手を取り合い、子どもたちの笑顔のために歩んでまいります。今年度も、本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。今年度、児童数839名、31学級でスタートします。

今年度の本校の教育目標は次の通りです。

■学校教育目標

自ら学び、自ら考え、自ら行動する子を育てる

■こんな子どもに育てていきます

- 学習習慣・生活習慣を身に付け、主体的に学び行動する子
- 人とのかわりを大切にし、思いやりをもって行動する子
- 自然環境・体験を通して感動できる感性豊かな子